

令和7年度 ESD活動報告書

1 ESDテーマ（主題）

「伝えよう!地域のよさを」～見つめようふるさと 広げよう思いやり～

2 主な活動内容について

2-1. 実施活動内容

学年	3 年	活動名	大好き！中萩のまち～中萩いいところ見つけ隊～
実施する教科（時数）	総合的な学習の時間（52）（4月～2月）		
授業者（担当者）	3 年担任、地域にある公共施設職員、商店や企業の方		

（ねらい）

- ・地域にある施設や商業、文化財に興味を持ち、グループに分かれて実際に見学や取材をし、調べてきたことを発表し合い、中萩校区の良さを共有する。

（活動の実際）

- ・グループに分かれて、地域にある公共施設や商業施設、文化財等を見学し、それぞれの場所で話を聞いたり質問をしたりして、調べたことをグループごとにまとめ、紹介する発表会を開いた。
- ・発表会をクラスごとに行い、情報交換する場を設けた。保護者にも学年便りや教室の掲示等で情報発信ができるようにした。

4
質の高い教育を
みんなに



11
住み続けられる
まちづくりを







学年	4 年	活動名	みんなにやさしい町づくり
実施する教科（時数）	総合的な学習の時間（30）（4 月～3 月）		
授業者（担当者）	4 年担任、特別支援学校教職員、学校運営協議会委員、地域包括センター職員		
(ねらい)			
・校区にある新居浜特別支援学校や障がいのある人の暮らし、支援について調べ、誰もが優しいと思える町づくりに参画しようとする心を育てる。 ・郷土の先人の功績から、SDGs の考え方に通ずる取組を知り、現在の新居浜市の発展につながっていることを理解する。			
(活動の実際)			
・新居浜特別支援学校の児童生徒との交流を行った。グループごとに活動内容を話し合い、ゲームを準備して、一緒に楽しんだ。また、自己紹介カード、お礼の手紙などでの交流も行った。 ・誰もが優しいと思える町づくりを考えるため、車いす体験や高齢者疑似体験を行ったり、全国一斉盲導犬教室に参加したりした。また、点字体験や簡単な指文字・手話を学習することで、コミュニケーションの仕方を学んだ。認知症サポーター講座も受講し、高齢者に対する理解を深めた。 ・住友金属鉱山の出前授業を実施し、先人の取組が現在の新居浜市の発展につながっていることを理解し、社会科見学や遠足の際に関連施設を実際に訪れ、これからもSDGs の考えを一層大切にしていくことを学んだ。			

3

すべての人に健康と福祉を

10

人や国の不平等をなくそう

11

住み続けられるまちづくりを

15

陸の豊かさも守ろう



学年	5 年	活動名	Nakahagi 環境守り隊～めざせ！エコレンジャー～
実施する教科（時数）	総合的な学習の時間（45）（6月～1月）		
授業者（担当者）	5年担任、公民館、学校運営協議会委員、えひめエコハウス職員		
(ねらい)		・自然環境について課題を持ち、調べ活動を通して、環境を守るためにできることを考え実践しようとする態度を育てる。	
(活動の実際)		・地域の方との美化活動やえひめエコハウスの方とのエネルギー学習などの体験を通して学びを深めることで、身近なところから環境を守っていこうとすることの大切さを学んだ。 ・自分が関心を持った自然環境の課題について、現状やその原因、解決のための取組を調べた上で、環境を守るために自分たちにできることをリーフレットにまとめ、伝え合った。	
			

学年	6 年	活動名	共に生きる
実施する教科（時数）	総合的な学習の時間（30）（5月～12月）		
授業者（担当者）	6年担任、語り部		
(ねらい)		・平和の尊さを知り、平和な世の中を築くため、自ら行動しようとする。	
(活動の実際)		・ビデオを見たり、ブックトークを聞いたりして戦争の様子や被害について学習した後、修学旅行での語り部の話や平和記念資料館の見学を基に、平和について新聞やリーフレットなどにまとめた。 ・平和学習を基に「平和」とは何かを話し合い、課題を決め、自分の課題についてインターネットや本、聞き取りなどから調べた。調べたことを提案文にまとめ、自分にできることを考えた。終末には、読み合って感想を話し合い、意見交換をした。	
			

2-2. 年間計画の実施状況

・大好き！中萩のまち～中萩いいとこ見つけ隊～〔3年〕（4～2月）【52時間】 ・ふれあいのまち～みんなにやさしい町づくり～〔4年〕（4～3月）【30時間】 ・Nakahagi 環境守り隊～めざせ！エコレンジャー～〔5年〕（6～1月）【45時間】 ・共に生きる〔6年〕（5～12月）【30時間】

3 成果（変容）と課題

・校区にある公共施設や商店等の見学を通して、校区での役割を知り、そこで働いている人の工夫や思いに触れ、互いの発表を聞くことでそれらを共有し、校区にある施設や商店について興味・関心を高めることができた。地域にある豊かな自然や歴史に触れさせる貴重な活動となった。 ・体験活動を多く取り入れることにより、校区には様々な立場の方がいることに気づき、自分たちにもできることがあると理解することができた。関係機関との交流学习をたくさん取り入れたが、日程等の調整が難しいときがあるため、計画的に進める必要がある。 ・体験活動や身近な問題の気付きから課題を見付け、問題解決に向けて図書や資料を用いて調べる活動に取り組むことができた。自分たちの生活と関連付けて考えたり話し合ったりすることはできたが、自分にできることの発信や実践までは十分に行うことができなかった。児童が、主体的に取り組めるための学習内容の計画や見直しが必要である。 ・6年生の取組では、修学旅行での平和学習をきっかけに戦争が起きた原因や戦争で使用された兵器、当時の人々の暮らし等について調べ学ぶ中で、戦争の悲惨さだけでなく平和のありがたさや、平和な世の中を維持するための方法などについて考えることができた。また、友達との交流を通して様々な内容について共有することができた。
--